

みんな笑顔で あったかす

みんなの議会

8

2010

6月定例会号



元気に水しぶき!!

役場裏の親水公園では、鷹栖保育園の子どもたちが6月から7月の猛暑、待ちに待った水遊びで元気いっぱい歓声を上げていました。

■第2回定例会

■第3回臨時会・第4回臨時会

■議会報告会開催のお知らせ

■わたしの一言

第2回定例会

3人の議員が町政を問う

一

般

質

問



第2回定例会は、6月17日から2日間の会期をもって開催しました。議長の行動報告と町長の主要な動静についての行政報告を受けたあと、3名の議員が一般質問を行い、町長の考えをたきました。議事は、報告、規約の変更、条例の制定・改正および一般会計ほか2会計の補正予算を審議し、原案のとおり議決しました。人事案件では、固定資産評価審査委員の選任に同意しました。また、議員提出による意見書2件について採択し、会期を1日残して閉会しました。

【3～7ページに関連記事】

質問議員と内容 (質問順)

- ◆山田 昇 議員 警察団地取り壊し後の土地利用は
- ◆近藤 義紀 議員 高齢者事業団をどうするのか
- ◆新田 健一 議員 警察団地用地の活用と住民との合意形成は

一般質問とは、

議員が町長・教育長に対し町政の考え方をたすもので、定例会のみで行います。

警察団地取り壊し後の土地利用は

警察団地取り壊し後の土地利用について伺います。

北海道では平成22年度に、警察団地の取り壊しを決定したと聞いています。長年の懸案でありました警察団地の取り壊しが、町の積極的な取り組みにより解決できることは、地域の生活環境が改善され、大変喜ばしく思っています。

さて、警察団地の敷地は約3,500㎡と聞いていますが、所有者である北海道ではどのような活用方を検討されているのでしょうか。また、北海道として活用計画がない場合、町として土地利用の検討をしているのでしょうか。

地域住民にとって住みよい環境作りは、極めて重要であります。潤いのある生活空間の拠点となる定住促進住宅の建設、高齢者住宅の建設などの地域づくり拠点施設が必要と思いますが、町長の考えを伺います。



山田 昇議員



今年度中に 結論を出したい 〔助安町長〕

警察団地の取り壊しについては、北海道および道警旭川方面本部に対して継続的な要望をしてきました。

関係機関のご協力もいただいたことで、平成22年度に解体工事の予算が措置されるという正式な説明がありました。

今年6月上旬に工事契約がなされて、工事については10月までの予定で、間もなく解体工事が始まると聞いています。

跡地となる土地は、道有財産であり、その後の活用や処分は道の「有休資産売却促進方針」に基づいて進めるとのことです。市町村が取得を希望すれば、競売より優先して取得することが可能です。また、道から取

得希望の照会も受けました。現在、役場内で検討をしています。土地利用計画や定住対策、財政計画などの課題を整理しながら、今年度中に方向性を見いだしたいと思います。

町づくり懇談会などの機会を有効に活用し、地域の皆さんと相談したいと考えています。



解体される警察団地

高齢者事業団をどうするのか



近藤 義紀議員

本町の高齢者事業団（以下、「事業団」）は、高齢者が地域社会の活動と密接な連携を保ちながら、その経験・能力等を生かして働く機会を確保し、健康の増進と生活感の充実を図るとともに、地域社会の発展に寄与することを目的に、平成9年1月に設立。現在に至っている団体です。

3月の予算委員会、事業団への補助金100万円は、人件費に対する補助であり、今後も助成していく。また剰余金の発生した場合は、補助金を遠慮願う方向を出していると答弁がありました。

その後、補助金の申請をすると100万円でない金

額が通知され、総会で会員の承認を得た後のことで、困惑したそうです。

なぜ予算どおりの実行ができない結果になったのか、お答え願います。

また、事業団は町の委託事業の入札に参加、ことごとく受注に失敗し、運営費の不足から、積立金を取り崩す状況になりました。

事業団のように繰越金や積立金があるから補助金を減額するということは聞いたことがありませんが、ほかの団体等でも、同様の措置を行っているのですか。

今後、事業団に対する町のかかわりを、どのように考えているのかお聞きします。

補助金は決算状況を

参考に対応

【助安町長】

平成22年度の町の補助金は、人件費に対する100万円に決定しており、通知したときに概算払いのことも含めて説明資料を添付して伝えていきます。

概算払いは、4月に25万円、7月に10万円、決算時期を迎える翌年に精算申請の形となり、平成22年度の繰越額を引いて補助金が決定されます。

このことについては、昨年の8月ごろから事業団と話をしており、事業収益による人件費がカバーできる場合は実費精算をする旨を通知しています。

また、町から補助金の交付を受けて収益を上げていく団体は事業団のみと考え、他団体は収益を上げない団



作業中の高齢者事業団

体と認識しています。

平成22年度において、事業団の収益が減少した場合、精算結果・決算状況により、予算の100万円という補助金を支出することは可能です。

本来、事業団は営利を追求することはない、とは言いつつも、運営のために、ある程度の収益は必要と考えます。

事業団の皆さんの議論、自主的な動きを見守り、決算状況等も参考にしながら、今後も対応させていただきたいと考えます。

警察団地用地の活用と住民との合意形成は



新田 健一議員

北野地区にある北海道警察の公営住宅が、取り壊されるのが決定したと伺いました。

そこで、その土地利用を今後どのように対応していく考えなのか。

この土地は、面積が1,000坪以上あり、地域づくりの拠点となる施設の建設を考えるべきだと思います。未来の鷹栖町のために、最も良い利用計画を提示していく考えはないのでしょうか。

また、町長の公約には「1,000万円以上は、住民の合意形成で着手していききたい」とありましたが、仮にこの土地を購入するとした場合、費用は確実に1,0

00万円を超えると想定されます。今回は住民との合意をどのように図るのか伺います。

日程的にも限られた中で、当初予算にも計上されておらず、町の第7次総合振興計画の前期計画にも上がっていません。しかし、鷹栖町にとつては大変重要な問題です。

町長の目指しているまちづくりを住民に具体的に提示し、役場職員とともに町民に対して説明し理解していただき、まちづくりを進めていくべきではないでしょうか。町長の考えを伺います。

懇談会などで意見を いただき対応したい 【助安町長】

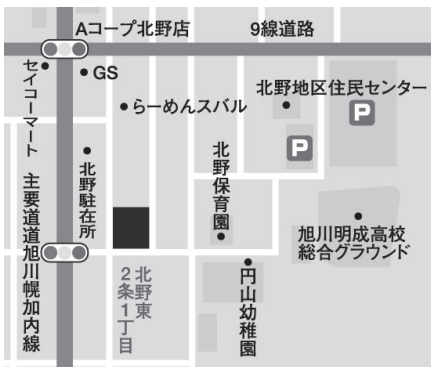
「一般財源1,000万円以上は、住民の合意形成で着手していきたい」とした公約については、選挙スタート時点では、確かにパフレットで書かせていただきました。それは町民の皆さんの総意という形を作っていたかかったためであり、そのような表現をとらせていただきました。

しかし、現実にはスピードも必要であり、思い切った方向と決断が必要だということを感じたため、町政担当に際しての所信表明の中では、「一般財源1,000万」の表現は割愛させていただき、昨年7月の臨時会で謝罪をさせていただきま

した。このことは、あらためて撤回をさせていただきます。

ただ、今後も住民の皆さんのいろんな意見をいただきながら、少しでも多くの賛同を得ることができるよう、行政執行に当たっていきたく考えています。

警察団地の跡地利用についても、今後、町づくり懇談会などで意見を聞かせていただき、安心した未来を描けるような案を提示できるように、努力してまいります。



警察団地用地 (■の部分)

第2回定例会

3議員の「一般質問」の後、4件の報告事項、22件の議案、2件の意見書などを審議し、原案のとおり可決しました。

■規約

【北海道町村議会議員公務災害補償等組合格約 など4規約の変更】

支庁制度から「総合振興局」等への改編に伴う名称変更などによるものです。

■条例

【鷹栖町地域新エネルギービジョン策定委員会条例の制定】

鷹栖町の新エネルギー、省エネルギー導入の指針となる「鷹栖町地域新エネルギービジョン」策定のために委員会（委員10名以内）を設置するものです。

【鷹栖町職員の育児休業等に関する条例の一部改正】

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、育児休業のできる職員の対象変更などに伴う条例の改正です。

【鷹栖町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正】

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、3歳未満児を養育する職員の時間外勤務命令の制限を一部変更した条例の改正です。

【鷹栖町安全で住みよい町づくりに関する条例の一部改正】

犯罪や事故の被害者に対し、町の責務として支援を行うことを明文化しました。

【鷹栖町職員の給与に関する条例など10条例の一部改正】

条例で使われていた「障害」の「害」の文字に「わざわざ」などの意味があるため好ましくないなどの理由で、北海道の条例改正と同時に10条例について「害」の字を「がい」のひらがな表記に変更するものです。ただし、「身体障害者手帳」などの名詞・法令字句については、今までどおりの表記となります。

低炭素社会で豊かな自然環境を

鷹栖町地域新エネルギービジョン策定委員会条例を策定

一般会計補正予算で450万円（全額補助）を予算計上し、次の調査や計画策定に向けての作業を進めます。

- 町内のエネルギー消費構造の分析
- 利用可能な新エネルギーの数値化…太陽光、太陽熱、風力、バイオマスエネルギーほか
- 鷹栖町地域新エネルギービジョンの原案作成…導入可能なエネルギーの評価、目標値の設定ほか

■鷹栖町固定資産評価審査委員会委員の選任同意

委員の任期満了に伴い、次の方の選任に同意しました。



中野修一さん
(再)
11線7号



若栗克美さん
(新)
13線7号



高橋雄二さん
(新)
23線15号

	補正額	補正前の額	補正後の額
一般	1,399万1千円	45億5,231万6千円	45億6,630万7千円
(内訳)			
総務費	1,086万7千円	新エネルギービジョン策定等事業ほか	
民生費	356万9千円	地域福祉活動支援事業ほか	
教育費	184万3千円	中学校生徒玄関改修工事ほか	
農林費	61万円	口蹄疫侵入防止対策事業ほか	
議会費	△289万8千円	議員1名辞職による歳出減ほか	
老人保健	11万8千円	15万3千円	27万1千円
(内訳)		平成21年度事業費確定	
介護保険	2,361万円	6億2,794万4千円	6億5,155万4千円
(内訳)		平成21年度事業費確定	

■補正予算 【一般会計】

補正の主な内容は、新エネルギービジョン策定等事業、地域福祉活動支援事業、中学校施設整備事業、口蹄疫侵入防止対策事業などです。

【老人保健特別会計】

補正の主な内容は、平成21年度事業費確定精算によるものです。

【介護保険特別会計】

補正の主な内容は、平成21年度事業費確定精算によるものです。

議会のこしき

2010.4.1
~7.1

4月

21日 経済福祉常任委員会
総務文教常任委員会
第3回臨時会で提案される議案について説明を受け、内容を審議

28日 第3回議会臨時会・議員協議会

5月

18日 全国議長研修会
(東京都 (19日))
経済福祉常任委員会
総務文教常任委員会
第4回臨時会で提案される議案について説明を受け、内容を審議

27日 第4回議会臨時会・議員協議会

28日 上川中央都市・町議会議長会
定例会議(美瑛町)

6月

3日 道町村議会議長会定期総会
議長・事務局長研修会(札幌市)
経済福祉常任委員会
第2回定例会で提案される議案について説明を受け、内容を審議

7日 第2回定例会で提案される議案について説明を受け、内容を審議

8日 総務文教常任委員会
第2回定例会で提案される議案について説明を受け、内容を審議

10日 議会運営委員会
第2回定例会で提案される案件や意見書の取り扱いなど議会運営について協議し、会期を2日間と決定。また、議会報告会について協議。

7月

17日 第2回議会定例会・議会報特別委員会

29日 議会報特別委員会

1日 全道町村議会議員研修会
(札幌市)

■報告

【平成21年度土地開発公社事業及び収支決算並びに平成22年度事業計画及び予算】
標記の件について、報告を受けました。

【平成21年度一般会計 繰越明許費繰越計算書】
平成21年度に予算措置した「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」等のうち、次年度に繰り越した町道舗装補修事業など13事業(1億1,733万4千円)の報告を受けました。

【平成21年度一般会計 事故繰越し繰越計算書】
平成21年度に予算措置した分収造林事業の作業路新設について、悪天候により次年度へ繰越事業とした報告を受けました。

【平成21年度水道事業会計 予算繰越計算書】
「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」で繰り越した総事業費(2,170万円)の報告を受けました。

■意見書

2件の意見書を採択し、関係行政庁に提出しました。

【地方財政の充実・強化を求める意見書】
【北海道農業の発展に必要な生産基盤整備等に関する意見書】

第3回臨時会

4月28日開催の臨時会において、平成21年度一般会計補正予算の専決処分、平成22年度一般会計補正予算、鷹栖町特別功労者の選考同意について審議し、原案のとおり可決しました。



■補正予算

【一般会計】

補正の主な内容は、3月下旬の強風による農業施設被害に対する復旧対策事業、高齢者福祉施設整備補助事業などです。

	補正額	補正前の額	補正後の額
一般	213万6千円	45億2,900万円	45億3,113万6千円
(内訳)			
農林費	660万円	営農施設復旧対策事業補助金	
	17万5千円	農業金融促進事業補助金	
民生費	213万6千円	高齢者福祉施設整備補助事業 (なごみの家スプリンクラー設置)	
議会費	20万円	議場放送設備修繕費	
総務費	△697万5千円	財政調整基金積立金	



6月17日の定例会前に行われた表彰式

■特別功労者の選考同意

永年、消防団員として町の発展に尽力された方々の特別功労者の選考に同意しました。

- ・若栗克美さん(13線7号)
- ・佐野修次さん(13線5号)
- ・村田哲雄さん(14線6号)

第4回 臨時会

■補正予算

（一）一般会計

【国民健康保険特別会計】

【水道事業会計】

主な内容は、美芳野橋（16線12号）架替
工事に伴う調査設計委託料、支障物件移
転補償費などによるものです。

主な内容は、税率改正と、平成21年度事
業費確定精算に伴う国への償還金です。

主な内容は、美芳野橋架替工事に伴う水
道管移設工事によるものです。

美芳野橋架替工事

調査設計委託を実施

5月27日開催の臨時会において、一般会計補正予算・国民健康
保険（事業勘定）特別会計補正予算・水道事業会計補正予算およ
び4条例の制定・改正を審議し、原案のとおり可決しました。

■条 例

【鷹栖町過疎地域自立促進のための 固定資産税の課税の特例に関する 条例の制定】

過疎地域自立促進特別措置法の延長
により、同法に規定する課税免除を
地方税法に適用させる条例を制定し
ました。（有効期限～平成28年3月
31日）

【鷹栖町税条例の一部改正】

地方税法の一部を改正する法律の施
行に伴い、16歳未満の扶養控除廃止
に伴う扶養親族申告書の記載事項や
たばこ税の税率変更などの改正をし
ました。

【鷹栖町都市計画税条例の一部改正】

地方税法の一部を改正する法律の施
行に伴う改正をしました。

【鷹栖町国民健康保険税条例の

一部改正】

保険税率の一部改正ならびに非自発
的失業者の保険税の軽減などの改正
をしました。あわせて国保税率中の
医療給付費分、後期高齢者支援金分
は据え置き、または引き下げる税率
改正をしました。介護給付費分の所
得割と均等割は引き上げ、平等割は
引き下げの改正などを行いました。

美芳野橋架け替え工事予定

平成22年7月 測量および地質調査
実施設計業務発注
平成22年11月 水道切替工事
平成23年10月 架け替え工事(通行止め)
平成24年3月 完成（予定）



美芳野橋



	補正額	補正前の額	補正後の額
一 般	2,118万円	45億3,113万6千円	45億5,231万6千円
（内 訳）			
土 木 費	1,611万8千円	美芳野橋架替工事調査設計委託ほか	
総 務 費	506万2千円	財政調整基金積立金	
国 保	869万9千円	8億329万6千円	8億1,199万5千円
（内 訳）		平成21年度事業費確定による償還金	
水 道			
資本的収入	300万円	美芳野橋 水道管移設補償	
資本的支出	500万円	美芳野橋 水道管移設工事	

お知らせ

第3回議会報告会

鷹栖町議会では、議会改革・議会活性化の一環として町民に開かれた議会を目指し、昨年に引き続き議会報告会を開催します。

この報告会では、議員が地域の皆さんと直接お話をしながら、議会の活動状況について報告・説明し、町政に関する情報の提供を行うとともに、議会活動に対する意見や批判、町政に対する提言などをお聴きしたいと考えております。多数の方のご参加をお待ちしています。

- 開催日程（予定） 10月上旬
- 開催場所（予定） 町内5会場

※詳細は決定しだいお知らせします。



昨年の報告会でご意見をいただいた項目 (一部)

議会に対するもの

- …議員報酬・定数について
- 議会報について
- 傍聴者への対応について

町行政に対するもの

- …旧北斗小学校跡地利用について
- パレットヒルズについて

平成22年度北海道町村議会議員研修会が7月1日、札幌市内にある札幌コンベンションセンターで開催されました。2名の講師による講演でした。

講演内容は、「農業ビッグバンの経済学」の演題で経済産業研究所の山下一仁氏からは、米の減反や農産物の価格支持施策を廃止して零細兼業農家の農地を企業的農家へ



全道町村議会議員研修会

貸し出すことで、規模拡大による効率化や農地の集約化、コストダウンが望める。価格が国際価格に近づけば輸出ができる。自由貿易こそ日本の食料安全保障を達成できるとの要旨でした。

「政局展望」の演題で白鷗大学の福岡政行教授からは、テンポの良い話し方で現在の政治家たちをこき下ろし、参議院選挙の予測をしていました。また、日本経済は三重苦であり、高齢者の増加による年金問題、国の借金体質、公務員の人件費が税収の半分を占めている。これらを解決するには、与野党による挙国一致内閣を組成しなければならないなどと熱弁を奮う福岡教授に共感を覚えました。

子どもたちが幼いころは、外出もできず一週間に家族以外と話さない日がほとんど。辛い日も多かったことを思い出します。

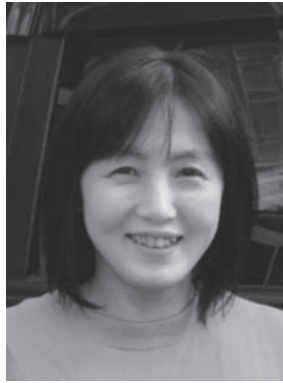
保育園・小学校と成長する中で家族ぐるみのお付き合いもでき、PTA、スクールバンド、野球少年団と知り合いがどんどん増えていく。共通の話題で笑いあったり、悩みを相談したり…人との『つながり』は生きていくのに大切なことだと思います。私の大切な人たちに感謝の気持ちでいっぱいです。

自己中心になりがちな社会の中で『つながり』を鷹栖町全体で感じ、子どもたちにも私が生まれ育ったこの鷹栖で幸せになってほしいです。

わが子のことで不便を感じていることは、通学のこと。小学生の時期はバス通学のため、放課後、休日は自由に遊びに行くことができず友達関係を築きづらと思うし、中学生になると部活動の朝練、休日練でバス時間が合わず送迎が必要だったり、自転車だったり。辛い思いをさせているのでは…と感じます。

そんな不便を感じながら近い将来、私の住んでいるこの場所にどれだけの世帯が暮らしているのか…。

一番心配なことかもしれません。



いつも感じて
素直な気持ち

清水和子さん
(37町内会)

鷹栖米の 全国PRについて

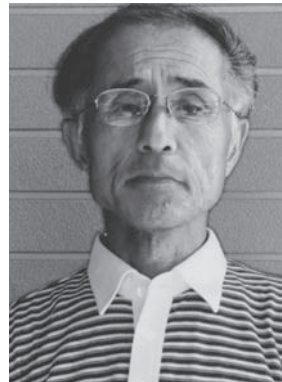
小林義雄さん
(鷹栖北町内会)

鷹栖町議会議員の皆さまには、日ごろ、鷹栖町のために町職員とともに尽力されていることに、敬意を表します。

6月に入り、ライラックの花も咲き、日中の気温も上がり初夏の陽気となりました。水田、畑については遅れを取り戻し、農作業に従事されている方には、今年も豊作を願い頑張っていることと思います。

その中で私は、鷹栖町の米は大変美味しいと、道内はもちろん、本州方面の方にも大変好評を得ていますので、ぜひ頑張ってもらいたいと思います。

私の娘も道外に住んでいるので、毎年、鷹栖米を送っていますが、やはり美味しいと言っています。



また、トマトジュースについても、大変美味しいとのこと。このことについても、生産者の努力の賜物と思っています。

私は、農家の方については、基盤整備で大型水田にされ、耕地面積も多く、少子高齢化に伴い、機械化設備投資と安定した生産につながるよう、国の政策もあると思いますが、町議会議員の方は力を入れてあげてください。鷹栖町の「米・トマトジュース」については、今まで以上、全国に広がるよう期待しております。

今後、鷹栖町議会定例会の傍聴について、また機会があれば出席して聞いてみようと思っています。

あとがき

春の天候不順から一転しての猛暑、私たちの記憶にない6月の暑さで、農作物の遅れは取り戻したようですが、これも、異常気象の一つなのかと心配される方もいると思います。また、参議院議員選挙後の政局の動きによって、国民生活・地方自治にも大きな影響があるものかと心配します。いろいろな不安を抱きながら生活をしている町民に安心して暮らしていただくために、今まで以上の気配りと目配りが必要と感じます。「みんなの議会」139号をお届けします。

今定例会での、3名の議員の一般質問・補正予算等と、臨時会の審議内容です。また、定例会には多数の皆さまの傍聴をいただき、ありがとうございます。

最後に「わたしの一言」にご寄稿くださいました、小林義雄さん、清水和子さん、ありがとうございます。

編集委員一同